



「希望をつないで楽しく元気に老いたい」

【profile】 せがわ・てつお
1933(昭和8)年3月生まれ、磐梯町出身。元県マスターズスキー協会理事長。22歳の時、勤務していた日曹金属化学(磐梯町)のスキー部に入部し、本格的にスキー競技を始める。第33回全日本マスターズスキー選手権大会の男子75歳代大回転3位。昨年の同大会では男子80歳代大回転で3位



スキーシーズンに備え、夏場は自宅でのウェイトトレーニングを毎日欠かさない

「希望をつないで楽しく元気に老いたい」が最近の座右の銘。「どうせ老いるなら、元気に、楽しく老いたい。健康第一、命は第二」と瀬川さんは笑う。「過去は変えられないけれども、未来は夢と希望が無限に広がっています」。そう話す瀬川さんの毎日は、新しい発見や喜びに満ち溢れている。

ハーイ、きらりさん

アルペンスキーヤー

瀬川 鐵男 さん (新北町)

**全日本マスターズで3位
82歳の現役スキーヤー**
あざやかなウェアを身にまとい、きれいなシュプールを描きながら、ゲレンデを颯爽と滑り降りる。3月に83歳の誕生日を迎える瀬川鐵男さん(新北町)。スキー競技歴は60年以上、現在も数々の大会に出場し、そのほとんどで入賞する実力者だ。昨年開かれた第39回全日本マスターズスキー選手権大会の男子80歳代大回転第1戦で

は、3位入賞。2009年に出場した栗石大会以来、同大会で2つ目のメダルを獲得した。「今まででもらったメダルの中でも、この2つが一番の宝物」。瀬川さんは、木箱の中から大事そうにメダルを取り出し、目を細める。「**「大器晩成」50代で花開く**」

瀬川さんが本格的に競技スキーを始めたのは22歳の時。勤めていた会社にスキー部が発足し、入部を命じられた。「県大会などに出場したが、若い頃は弱かったので、国体には一度も出られなかった」と瀬川さんは振り返る。思うような結果は出せなかったが、大好きなスキーをずっと続けた。「小さい頃から大器晩成型と言われて育った」と話す瀬川さん。51歳で出場した第9回全日本オールドパワー尾瀬片品大会(後の全日本マスターズ選手権)では15位に入り、以後は15位以内の成績を収めている。積み重ねてきた地道な努力は、着実に実を結んでいる。「ことしのマスターズでは2位以上が目標」と瀬川さんはさらなる高みを目指す。

「猪苗代は四季がはっきりしているのがいいところ。美しい四季、楽しい四季、おいしい四季、大切にしたいと思う四季」と笑顔を見せる瀬川さん。スキーができる冬だけでなく、猪苗代の全ての季節に愛着を感じている。「希望をつないで楽しく元気に老いたい」が最近の座右の銘。に励む。山に登り、四季折々の花の絵などを描くのも楽しみの一つだ。



自宅のリビングには、全日本マスターズ選手権3位入賞時の写真や賞状が飾られている



猪苗代町の高齢者等の支援に関する協定締結式
猪苗代町地域の見守りの取組に関する協定締結式
株式会社セブン・イレブン・ジャパン
猪苗代町・ヤマト運輸株式会社福島主管支店
生活協同組合コープあいづ
同日、町役場で行われ、前後公町長がセブン・イレブン・ジャパンの上野雅史会津地区ディストリクトマネージャー、ヤマト運輸猪苗代支店の伊藤朋子支店長、コープあいづの荒井信夫理事長とそれぞれ協定書を交わしました。前後町長は、「ライフスタイルの変化などにより、社会的に孤立する高齢者が増えている。地域に根ざした事業者の皆さんと協力体制を強化し、高齢者福祉の充実に努めていきたい」とあいさつしました。

まちの応援マガジン いなわしろ 広報 猪苗代 Feb.2016 2 No.664



【撮影日】1月23日
【場所】ひまわりこども園

今月の表紙

ひまわりこども園の内覧会で、お姉ちゃんのお手伝いを背に、遊戯室のクライミングウォールに何度も登っていた白井凰香ちゃん(4歳)。「とっても楽しい。早くお友達と一緒に遊びたい」と4月の入園を心待ちにしている様子でした(関連6ページ)。

Pick Up

今月のイベント

事業所と手を携え
高齢者を見守る

Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 ハーイ、きらりさん
- 04 成人おめでとうございます
- 06 まちのわだい
- 10 笑顔でこんにちは／はじまりの美術館企画展「この土地の温度を感じて」開催中／スクールトピックス
- 12 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー